

2024年3月期 月次速報

※本資料の数値は、POS売上・受注等に基づく速報値です。実際の決算数値とは異なりますのでご了承ください。

1. 月次前年比

(%)

	4月	5月	6月	1Q	7月	8月	9月	2Q	上期計	10月	11月	12月	3Q	1月	2月	3月	4Q	下期計	累計
デンキセグメント	95.9	95.6	95.4	95.7	109.2	108.2	104.1	107.3	101.5	96.6	103.8	100.0	100.1					100.1	101.0
住建セグメント	103.9	95.7	102.9	100.7	99.9	104.5	103.3	102.6	101.6	92.1	104.4	94.4	96.8					96.8	100.0
金融セグメント	171.1	166.8	154.6	163.8	163.3	168.9	155.9	162.6	163.2	164.8	179.0	171.6	171.8					171.8	166.2
環境セグメント	112.3	111.6	101.0	108.0	102.1	111.6	112.8	108.6	108.3	107.5	104.8	101.5	104.4					104.4	107.0

※以下、速報値を使用しており、決算数値とは異なります。

- ・デンキセグメント：POS売上高
- ・住建セグメント：受注・売上高（※住宅販売等の受注高、及びその他の住設機器販売・施工等の売上高を合算した数値です。）
- ・金融セグメント：売上高
- ・環境セグメント：売上高

2. 概況

- ・デンキセグメント：12月度は、電気通信事業法改正前の駆け込みにより、携帯電話の実績が大きく伸びました。一方、季節商品は昨年と比較し、気温が高かった地域が多い事もあり、前期を下回る実績となりました。第3四半期は、携帯電話が好調で実績を牽引しました。また、冷蔵庫、洗濯機、調理、クリーナーといった生活家電が高付加価値商品のニーズの高まりに支えられ、堅調に推移しました。
- ・住建セグメント：前年は新規補助金申請開始の影響で一時的な受注増加があったことから、前期を下回る結果となりました。
- ・金融セグメント：NEOBANK住宅ローンが好調に推移し全体を牽引しました。また、ヤマダデンキのリフォーム事業と連携しリビングローン申込が堅調に推移しました。
- ・環境セグメント：家電のリユース事業が順調に推移し、前期を上回る結果となりました。

3. 直営の店舗数推移及び売場面積

	4月	5月	6月	1Q	7月	8月	9月	2Q	上期計	10月	11月	12月	3Q	1月	2月	3月	4Q	下期計	累計
新店	6	2	5	13	2	0	1	3	16	2	2	0	4					4	20
退店	2	4	5	11	1	3	7	11	22	4	3	6	13					13	35
改装	2	2	0	4	4	6	2	12	16	5	2	10	17					17	33
店舗数	1,003	1,001	1,001	1,001	1,002	999	993	993	993	991	990	984	984					984	984
売場面積 (㎡)	2,827,182	2,825,737	2,863,826	2,863,826	2,867,406	2,864,927	2,861,750	2,861,750	2,861,750	2,861,750	2,866,606	2,856,342	2,856,342					2,856,342	2,856,342

※店舗数及び売場面積は、いずれも月末時点の数値です。

※売場面積は、新店のほか店舗改装等により変動する場合があります。

※退店の増加は、LIFE SELECTをコア店舗としたS&Bによる退店です。売場面積増に向けた店舗開発は計画通り進捗しております。